



図6.3 食虫性に関する祖先形質の復元

(a) マルコフ過程モデルによる復元。丸の大きさと枝の太さは食虫性の確率を表している。(b) 遺伝子×枝交互作用を予測因子とするlassoロジスティックモデルによる復元。なお、系統樹の分岐年代は、別途、枝効果(図6.2b)と化石記録からベイズ推定している。